

**新型コンクリート有効応力計
GK-□N-505E
仕様書**

**株式会社東横エルメス
東亞エルメス株式会社**

2011. 8. 9

1. 概要

本器は、コンクリート構造物内に埋設して応力を測定するときに使用します。

2. 特長

本器は、測定するコンクリートを内部に充填し、検出器の一部として機能させることにより、見掛けの弾性係数をコンクリートのそれと常に一致させるようにしたものです。

このことから、以下のような特徴があります。

- (1) 若材齢時(硬化直後)からの応力を直接測定できます。
- (2) 計器はクリープや乾燥収縮の影響をほとんど受けません。
- (3) 計器の線膨張係数がコンクリートのそれとほぼ同等のため温度影響をほとんど受けません。
- (4) 引張、圧縮応力の測定ができます。

3. 仕様

型式	GK-□N-505E (□は測定範囲を示す)					
測定範囲(□XN/mm ²)	6	10	20	30	36	40
定格出力 (RO)	1.0 mV/V以上					
定格出力ひずみ	2000 × 10 ⁻⁶ st以上					
直線性	±1.0 %RO以内					
ヒステリシス	±1.0 %RO以内					
許容過負荷	120%					
許容温度範囲	-10 ~ +80 °C					
許容耐水圧	0.8 MPa					
最大印加電圧	10 V					
入・出力抵抗	350 Ω ±2%					
絶縁抵抗	DC25Vにて500MΩ以上					
寸法	50 [□] × L500 (フランジφ80) mm					
質量	約2.0 kg					
ケーブル	S4-5(0.5mm ² 4心、シングルシース)					
ケーブル標準長	1 m					

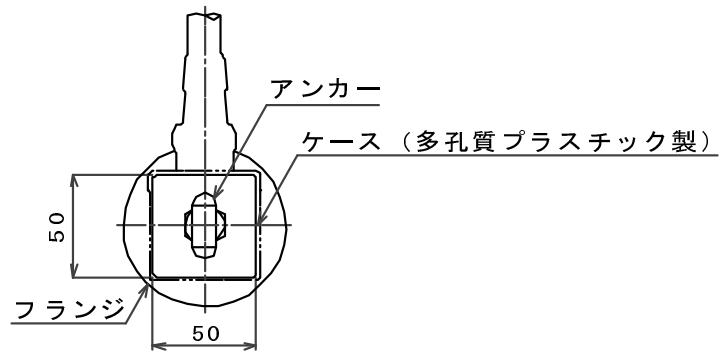
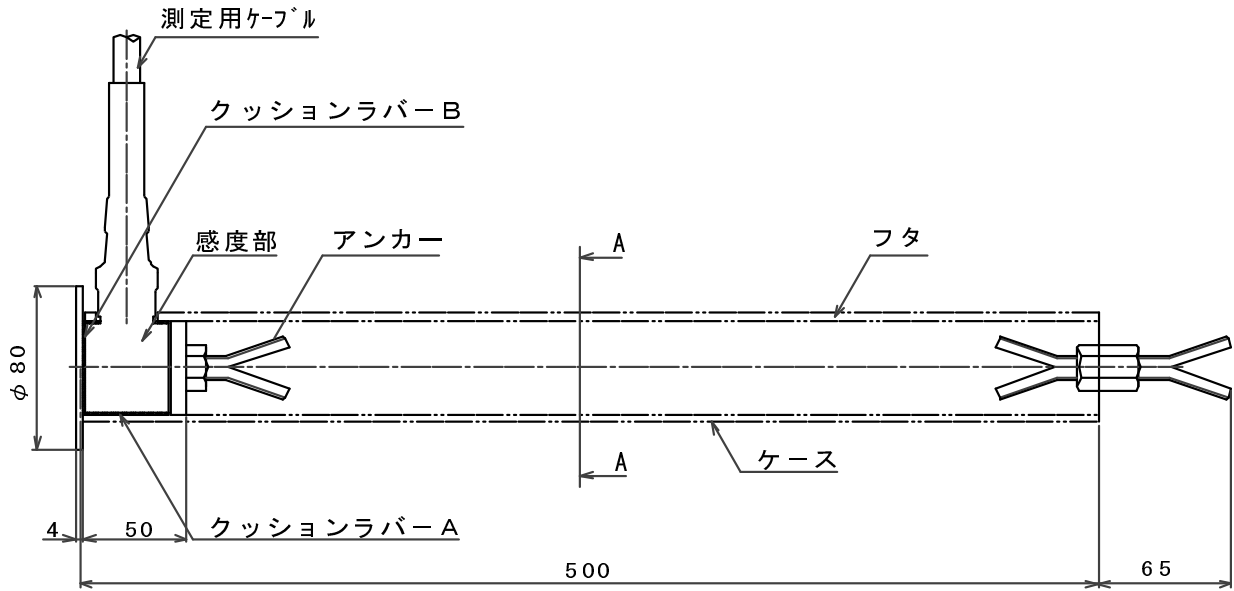
※コンクリート有効応力計の寸法には各種ありますが、その選定の基準は測定対象コンクリートの粗骨材平均粒径の2倍以上が目安となります。

例: 平均粒径が25mmの場合は、GK-□N-505Eとなります。

※極性は、+;圧縮、-;引張です。

※直線性とヒステリシスの数値は、変換部本体のものです。

4.外観図 (GK-□N-505E)



A - A 断面矢視図